

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 550501	日常生活支援事業				主管課名	高齢福祉課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 幸広				
		施策	みんなで助け合える福祉のまち									
		基本事業	高齢者に安全・安心な地域社会の推進									
	(1)事業の概要											
	地域社会の中において自立した日常生活を送ることができるように生活支援員により、衣類の洗濯、住居清掃、調理などの家事の援助を行う。 [対象] ・在宅で自立した日常生活を営むために社会的支援が必要な65歳以上のみの世帯に属する人(要介護又は要支援と認定された人は除く)						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							年間延利用者数		人			
									人			
							その指標					
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		在宅介護支援センター職員による実態把握の中で、支援が必要と思われる者に対し、週1回、2時間以内の範囲で、調理・掃除などの家事の援助を生活支援員が高齢者の自宅で行う。生活支援員事業は、シルバー人材センターに委託。										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
社会的支援の必要な65才以上のみの世帯に属する者						名 称		単 位				
						社会的支援の必要な65才以上のみの世帯に属する者		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
生活支援員の利用を申請する						名 称		単 位				
						サービス利用の申請をした人数		人				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
安心して住み慣れた地域で生活してもらう						名 称		単 位				
						サービスを利用した高齢者の数		人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単 位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		人	124	100	106	111	115	119				
		人										
(6)の対象指標		人	12	12	14	15	16	17				
(7)の成果指標		人	12	12	14	15	16	17				
(8)の結果の成果指標		人	124	100	168	168	168	168				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	289	238	340	354	367	379				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	289	238	340	354	367	379				
人件費 B		千円	812	865	865	865	865	865				
正職員従事時間×人数		時間×人	220 × 1	230 × 1	230 × 1	230 × 1	230 × 1	230 × 1				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用 C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	1,101	1,103	1,205	1,219	1,232	1,244				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ 人	92	92	86	81	77	73					
	千円/											
	千円/											

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 550501 日常生活支援事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成18年4月 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 社会的支援に必要な65歳以上のみの世帯に属する者に対し、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう支援するために開始する。	社会的に支援が必要な高齢者が、障がい者や精神疾患患者など様々な状態の高齢者となってきており、事業委託先のシルバー人材センター会員で行っている簡易な生活援助では支援が困難なケースが発生している。また、利用者自身の身体機能の低下も専門的に診ることが出来ないため、介護保険の必要度に気づきにくい。さらに社会的に支援が必要な高齢者の把握を行い支援の強化に努めることが今後の課題。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している内容 社会的に支援が必要な高齢者が、障がいや精神疾患など様々な状態の人となってきた。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市生活支援員派遣事業実施要綱 社会的支援に必要な65歳以上のみの世帯に属する者に対し、地域社会の中で自立した生活が営めるようにする。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	現状で成果が上がっていると考えられるため。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない 受益者がいない	現状で適正 検討が必要	内容		介護保険の通所介護サービスの自己負担額と同様のシステムとする。(1割負担・買物加算なし)

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	本市においても、高齢化の進展に伴い、社会的に支援が必要な高齢者は増加するため、一層の家事支援の強化が必要となる。現在、生活支援員派遣事業を委託しているシルバー人材センター会員では事業の専門性に乏しく、介護保険の訪問介護事業所(ホームヘルプサービス事業者)へ委託先を変更するなど改善が必要。					